

平成29年度 行政改革・事務改善事項

1 市民の視点に立った協働の「まちづくり」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 市民や地域との協働の推進	みんなで進めるカラス環境被害対策モデル事業 (継続)	【生活環境課】 カラス被害対策は継続が必要なことから、平成27年度から実施している対策の効果を検証し、地域の負担感が軽減される対策を地域とともに検討した。
	(新規) 燃えないごみの排出方法の市内統一	【生活環境課】 平成29年度から燃えないごみの分別・排出方法の変更が円滑に実施できるよう、出前講座の実施や資源ごみステーションにおける分別指導を実施し、燃えないごみのより一層の再資源化、収集作業の効率化及び危険ごみ混入の防止に努めた。 旧砺波地域 14地区
(2) まちづくりの担い手の育成と連携の推進	(新規) 女性防災士育成支援	【総務課】 災害時における女性に配慮した避難所運営や日頃から女性の視線で防災意識の啓発が図れるよう、市内全地区への女性防災士の配置に向けた育成を支援するため、5月9日の地区自治振興会協議会において、各地区1名の推薦を依頼し、推薦者の養成研修受講を支援した。 H29新規資格取得者 女性防災士 16地区 18名
(3) 情報の積極的な提供と共有化の推進	(新規) 情報発信（シティプロモーション）強化事業	【企画調整課】 本市の魅力発信と移住定住を推進するため、地域おこし協力隊が中心となって結成したTEAM1073のメンバー27名が、SNSを活用した情報発信に取り組み、シティプロモーションの強化を図った。
	(新規) 事項別支出状況のホームページ公開（市議会）	【議会事務局】 ホームページで公開している政務活動費収支報告書に加えて、事項別支出状況についても、平成29年度から掲載した。
	(新規) 「大雪等に関する情報」欄新設による情報発信	【総務課】 大雪に伴う、公共交通機関の運行状況や学校・幼稚園の休校・休園などに関する情報を、市ホームページにまとめてタイムリーに掲載した。ページの入り口をトップ画面に掲載することで、スマートフォンや携帯電話でも市民に情報がわかりやすいものとした。 大雪に限らず、大雨、暴風等の各種災害時にも同様の対応に努めた。

2 時代の変化に対応した効果的で質の高い「行政サービス」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 人材の育成と組織 機構の最適化	(新規) 組織の最適化	<p>【総務課】 「砺波暮らし推進班」の新設 これまで3つの部署（企画調整課、総務課、散居村ミュージアム）で所管していた空き屋対策に関する業務を集約し、窓口を一本化するとともに、移住・定住対策、シティプロモーションとの連携を強化するため、企画調整課に「砺波暮らし推進班」を設置し、専任職員を配置した。</p> <p>「危機管理係」を班体制に移行 「総務課危機管理係」を「総務課防災・危機管理班」とし、防災対策及び危機管理体制の強化を図った。</p> <p>「ねんりんピック推進班」の新設 平成30年度に開催される第31回全国健康福祉祭とやま大会を円滑に運営するため、社会福祉課に「ねんりんピック推進班」を設置し、専任職員を配置した。</p>
(2) 事務事業の効率化・ 適正化	(新規) 家族介護者交流事業の見直し 【提案型事業評価】	<p>【社会福祉課】 市外の温泉施設等で開催していた事業を、市内福祉センター等で開催することとし、回数と参加者数の増加に努めた。</p> <p style="text-align: right;">回数：H28年度5回→H29年度7回 参加者数：H28年度末38人→H29年度末22人</p>
	(新規) 避難行動要支援者登録システムの改修	<p>【社会福祉課】 避難行動要支援者登録後、登録された方の個別支援計画を各自治会で作成する事になるが、現状は、空白の様式に手書きで記入することになっていたものを、既に登録されているデータを様式に反映するようシステム改修し、自治会側の作業負担を軽減し、個別支援計画作成の推進を図った。</p> <p style="text-align: right;">個別支援計画作成率： H29.3末36.25%→H30.3末44.12%</p>
	(新規) 帳票の見直し	<p>【健康センター】 胃、結核・肺、大腸のがん検診通知を1枚にまとめ、未受診状況等市民に分かりやすい帳票に変更した。帳票変更に伴い検診通知発送事務や検診受付時の事務効率化を図った。 また、歯周疾患検診票を対象者全員への送付から歯科医院の備え付けに変更し、経費の節減を図った。</p> <p style="text-align: right;">削減額 160千円</p>

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 事務事業の効率化・適正化	(新規) 育児相談の拡充	【健康センター】 受付時間を1時間延長し、また助産師による母乳相談を隔週から毎週実施した。また、会場を対象者別に2部屋を増やしたことから、毎回20人前后来所されるが、来所時間も分散され、相談を受けやすい体制になった。 産後、母乳育児に悩み、うつ傾向になる方が増えているが、毎週適切な相談を受ける機会ができ母乳育児をスムーズに行えるようになったことから、悩みがすっきりと解消され、長期間来所される方が減った。 参加者数 <u>H30年3月末49回 666人(再掲 母乳相談 223人)</u>
	(新規) 農業農村整備環境検討委員会の砺波管内の一本化	【農地林務課】 農業農村整備環境検討委員会は、砺波市及び南砺市でそれぞれで開催していることから、砺波管内で一本化し、合同で開催することを検討しており、引き続き県や南砺市に働きかけていく。
	(新規) 小中学校複合機の機能見直しと一括導入	【教育総務課】 小中学校に設置している複合機機能の見直しと一括契約により経費の節減を図った。 削減額 約70千円

3 健全で持続可能な「財政運営」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 健全な財政運営の推進	(新規) 議員定数の変更に伴う報酬等の削減	【議会事務局】 議員定数の変更（定数20人→18人）に伴って、議員報酬、手当及び政務活動費を削減した。 削減額 12,236千円
(2) 公共施設等のマネジメントの推進	未利用地等の有効活用 (継続)	【財政課】 未利用の市有地等について、売却処分等の有効活用を引き続き推進した。 売却5件 24,721千円
	砺波市太田テニスコートの売却 (継続)	【生涯学習・スポーツ課】 砺波市行政改革市民会議で示された市内テニスコートの集約化を推進する方針に基づき、太田テニスコートを廃止した。 年間削減額 指定管理料 400千円 【商工観光課、財政課】 公共施設の適正化及び工場拡張のニーズに対応し、工業用地として売却を行うため整地を完了し、平成30年度に売却手続き予定。

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 公共施設等のマネジメントの推進	用地取得の検討 (継続)	【商工観光課、生涯学習・スポーツ課】 各種公共施設の借地の購入を順次進め、経常経費の削減に努めた。 (美術館用地の一部を購入) 年間削減額 土地賃借料 4,301千円
	児童センター・児童館のあり方 (継続)	【こども課】 老朽化した児童館のあり方及び他施設での事業の実施について、引き続き、地元自治振興会等と協議を行った。(種田児童館)
	(新規) 油田保育所の取り壊しと跡地の活用	【こども課・財政課】 園舎の跡地について、売却処分等により有効に活用するため、園舎を取り壊した。
	(新規) 幼稚園跡地の活用(五鹿屋、東野尻)	【こども課】 園舎等の活用について、地元自治振興会等と協議を行い、旧五鹿屋幼稚園については五鹿屋地区自治振興会に無償譲渡することとなった。
	(新規) 幼稚園をとりまく課題についての検討委員会の設置	【こども課】 子ども・子育て会議においてワーキンググループ「幼稚園をとりまく課題についての検討委員会」の設置を決定し、平成30年1月より、在園児童が少ない4つの幼稚園が持つ課題について検討を進め、報告書を取りまとめた。
(3) 自主財源の確保と創出	(新規) マイクロ水力発電による売電収入	【上下水道課】 上中野配水場マイクロ水力発電所において発電を実施し、電力会社に対して売電することで収入を確保した。 売電収入額 8,251千円
	雑誌スポンサー制度の導入 (継続)	【図書館】 引き続き雑誌スポンサーを募集し、雑誌購入経費の削減を図るとともに、図書資料の充実と利用サービスの向上を図った。 平成30年3月31日現在 21社35誌(297千円) (砺波図書館:20社28誌、庄川図書館:6社7誌)
	(新規) 成人式プログラム等への広告掲載 【職員提案】	【生涯学習・スポーツ課】 成人式の案内はがき、プログラム及び資料袋に新成人に向けたメッセージ入りの企業広告を掲載し、作成経費の財源に充てた。 収入額 10枠 80千円

実施項目	取組事項	取組状況
(4) 公営企業等の健全 経営の推進	病院事業の経営健全化 (継続)	<p>【砺波総合病院】 市立砺波総合病院新改革プランに基づき経営の効率化に努めた。</p> <p>外部の有識者8名で構成する「市立砺波総合病院経営改善委員会」を11月8日に開催し、病院の経営改善に関する事項等について点検及び評価を行い、その概要を公表した。</p>

平成30年度 行政改革・事務改善事項

1 市民の視点に立った協働の「まちづくり」の推進

実施項目	取組事項	取組内容
(1) 市民や地域との協働の推進	燃えないごみの排出方法の市内統一 (継続)	【生活環境課】 燃えないごみの分別・排出方法の変更が円滑に実施できるよう、出前講座の実施や資源ごみステーションにおける分別指導を実施し、燃えないごみのより一層の再資源化、収集作業の効率化及び危険ごみ混入の防止に努める。
(2) まちづくりの担い手の育成と連携の推進	女性防災士育成支援 (継続)	【総務課】 災害時における女性に配慮した避難所運営や日頃から女性の視点による防災意識の啓発が図れるよう、今年度も昨年度(H29)に引き続き、各地区の女性防災士各1名の増員に向けた育成を支援する。
(3) 情報の積極的な提供と共有化の推進	情報発信(シティプロモーション)強化事業 (継続)	【企画調整課】 本市の魅力発信と移住定住を推進するため、地域おこし協力隊が中心となって結成したTEAM1073のメンバー28名が、SNSを活用した情報発信に取り組み、シティプロモーションの強化を図っている。
	(新規) 情報発信(先駆的シティプロモーション)強化事業	【企画調整課】 VRカメラ(動画4K)やドローンを使って市の風景や空き家の内部撮影を行い、新たに視覚へ訴える情報発信を行うとともに、観光イベント撮影や災害の写真などにも有効活用している。
	(新規) 政務活動費における領収書の写しのホームページ公開(市議会)	【議会事務局】 ホームページで公開をしている政務活動費収支報告書、事項別支出状況に加えて、領収書の写しについても、平成29年度分から掲載している。 (平成30年6月～)

2 時代の変化に対応した効果的で質の高い「行政サービス」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 人材の育成と組織機構の最適化	(新規) 母子父子福祉業務の事務移管	【社会福祉課・こども課】 こども課への事務移管により、市民にとってわかりやすい業務の分担に改め、ひとり親家庭等に係る支援体制の強化を図った。

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 事務事業の効率化・適正化	(新規) 高齢者インフルエンザ予防接種事務の簡素化	【健康センター】 現在、高齢者インフルエンザ接種券は本人に、予診票は医療機関に配布している。接種終了後、接種券と予診票に記入漏れ等の有無を各々確認している。H30.7より、システム改修に取りかかり、予防接種券兼予診票を作成中。一体化により、予診票を医療機関に配布する事務がなくなる。また、「接種券兼予診票」の1枚の確認で事務の軽減を図る。
	(新規) 庄川河川敷公園（パット・パークゴルフ場）の指定管理	【都市整備課】 指定管理者制度を導入することにより、利用料の減免申請書などを市に提出することなく、現地で行うことができ、事務の効率化や利用者の利便性の向上が図られた。 また、ゆずの郷やまぶきとの一体的な連携を図りながら、民間ノウハウを活用したことにより、利用促進（利用客増）が見られた。 パークゴルフ場利用者 12,820人 対前年比+1,426人(12.5%増)
	(新規) 地理情報システム（GIS）の連携	【上下水道課】 下水道台帳システムと水道台帳システムにおける地理情報システム（GIS）の連携に関する検討を行う。 これにより、下水道管と水道管の埋設の位置、深さ、年度などの情報管理の一元化を図ることができ、事務事業の効率化及び窓口対応の向上が見込まれる。
	(新規) 小中学校卒業記念品贈呈の見直し 【提案型事業評価】	【教育総務課】 小学校卒業記念品の贈呈は、廃止する。 削減額 710千円 中学校卒業記念品の贈呈は、段階的な廃止を含めて検討する。

3 健全で持続可能な「財政運営」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 健全な財政運営の推進	(新規) 徘徊SOS緊急ダイヤルシステム事業配信料の一部見直し	【地域包括支援センター】 徘徊SOS緊急ダイヤルシステムの配信料について、現在、①基本料金、②5時間未満の配信料、及び③5時間以上の配信料から成っている料金体系のうち、③5時間以上の配信料の加算を1時間毎とする。 加算分を刻むことで、経費の削減を見込む。 平成30年度4月～8月末まで2件配信 (5時間未満の利用のみ)

実施項目	取組事項	取組状況			
(1) 健全な財政運営の 推進	(新規) 政務活動費の後払い制への移行	【議会事務局】 これまで年2回、前払い制で交付していた政務活動費について、平成30年度から活動実績に基づく請求に応じた後払い制に移行した。			
	(新規) 各種補助金の見直しによる削減	【財政課、各課】 各種補助金等については、順次見直しを行い、削減を図っている。 平成30年度 8月末 削減額 580千円 <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">(1) 団体補助金の見直し</td> <td style="border-bottom: 1px solid black; text-align: right;">80千円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">(2) イベント補助金の見直し</td> <td style="border-bottom: 1px solid black; text-align: right;">500千円</td> </tr> </table>	(1) 団体補助金の見直し	80千円	(2) イベント補助金の見直し
(1) 団体補助金の見直し	80千円				
(2) イベント補助金の見直し	500千円				
(2) 公共施設等のマネジメントの推進	未利用地等の有効活用 (継続)	【財政課】 未利用の市有地等について、売却処分等の有効活用を引き続き推進する。			
	(新規) 利用者駐車スペースの確保	【庄川健康プラザ】 利用者の駐車スペースを確保するため、参加者の多い教室が重複しないよう調整した。			
	児童センター・児童館のあり方 (継続)	【こども課】 種田児童館の機能を地区内の集会施設に移転し、建物は地元へ無償譲渡した。 その他の老朽化した児童館のあり方及び他施設での事業の実施について、引き続き、地元自治振興会等と協議する。			
	旧油田保育所の跡地の活用 (継続)	【財政課】 園舎の跡地を売却処分等の有効活用を推進する。			
	旧東野尻幼稚園の園舎等の活用 (継続)	【こども課】 園舎等の活用について、引き続き、地元自治振興会等と協議する。			
(3) 自主財源の確保と 創出	マイクロ水力発電による 売電収入 (継続)	【上下水道課】 上中野配水場マイクロ水力発電所において発電を実施し、電力会社に対して売電することで収入を確保する。 売電収入額 3,471千円			
(4) 公営企業等の健全 経営の推進	病院事業の経営健全化 (継続)	【砺波総合病院】 市立砺波総合病院新改革プランに基づき経営の効率化に努める。			